



薄鋼板

析出物、変態組織、集合組織の制御技術を駆使し、自動車の軽量化に寄与する高強度鋼板、電気機器用の高機能鋼板、加工性と強度に優れた鋼管用鋼板の開発を行っています。

パネル用 & 骨格部品用ハイテンの材料技術

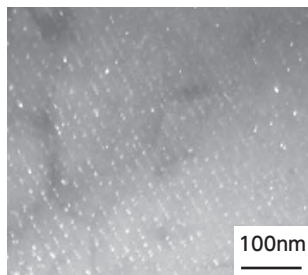
自動車のメンバー・ピラー等の骨格構造部品用鋼板には、高強度に加え優れた延性や伸びフランジ性が要求されます。化学成分とマイクロ組織構成を制御することによって、優れた延性と伸びフランジ性を兼備した冷延・溶融亜鉛めっきハイテンを開発しています。

また、自動車パネル部品には優れた深絞り性と張り出し性が要求されます。右下写真のプレス成形品は、硬質変態組織の分散形態を制御することにより、張り出し性を高めた 440MPa 級のユニハイテン[®]を素材としています。



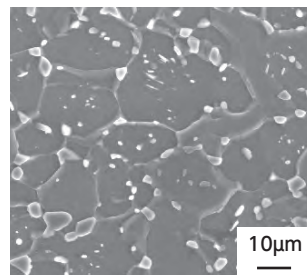
足回り用熱延ハイテンの材料技術

自動車の足回り部品用鋼板には優れた伸びフランジ性が要求されます。これらの鋼板では、ベイナイトと呼ばれる強化相を用いたマイクロ組織制御や鋼中炭化物の析出状態を精密制御することにより、伸びフランジ性を向上させています。



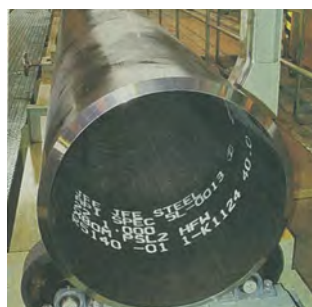
駆動系部品用特殊鋼の材料技術

動力伝達部品では、高い表面硬度が要求されます。高機能高炭素熱延鋼板スーパーホット[®]シリーズでは、化学成分の最適化とマイクロ組織制御により、成形時は軟質でありながら、焼入れ後の高硬度を実現しています。



ラインパイプ用素材の材料技術

天然ガス・石油などの採掘・輸送用には鋼板を筒状に成形溶接した鋼管が用いられます。化学成分の最適化と制御圧延により、高強度と靱性を両立した素材鋼板を開発しています。



世界最高強度クラス X80 グレードの熱延鋼板を用いた管厚 1 インチ (25.4mm) 電縫鋼管